

平成29年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	「ミニマム・ロスの農業」実現を目指して
研究代表者	舟川 晋也 (京都大学・地球環境学堂・教授) ※平成29年6月末現在
研究期間	平成29年度～平成33年度
コメント	<p>本研究は、農業生産の持続可能性を高め、農業由来の環境問題拡大を解決する「ミニマム・ロスの農業」を提案するものである。応募者は、これまで土壌学分野で優れた業績を上げており、世界各地での調査研究も精力的に進めている。これらの研究実績に裏付けされた、アジア・アフリカの湿潤畑作地帯での伝統農法における養分のフラックスや農耕地管理要素のプロセス解明とそれらの整理により、近代農業に活用しうる技術群を再構築しようとする世界的にも先駆的な研究内容である。</p> <p>以上の理由により、基盤研究（S）として推進することが適当と判断した。</p>